

●新市誕生20周年。記念事業で盛大にお祝い

平成16年10月の旧光市と大和町の合併から20年という節目の年を迎えました。

「ありがとう20年 つながろう人と かがやこう未来へ」のテーマのもと、式典や多くの関連事業を行い、市民総出で記念すべき節目を盛大にお祝いしました。

●防災庁舎が供用開始

あらゆる災害に的確に対応できる防災対策の要として、「防災庁舎」の運用を3月に開始しました。高い耐災性を有し、また、独自に開発した洪水や土砂災害などの高度な予測が可能な、最新鋭の総合防災情報システムなどで、市民の安全・安心を守ります。

●施設一体型小中一貫やまと学園の整備を推進

やまと学園の新設に向けた方針や内容等を定める「施設一体型小中一貫やまと学園施設整備基本計画」を3月に策定しました。この計画を踏まえ、令和8年度の着工に向け、施設の具体的な整備内容を決めていく「基本設計・実施設計」の策定を進めています。

●公共交通がリニューアル～バス路線とうしま丸～

令和6年3月末で廃止されたバス路線の代替として、4月から防長交通と周南近鉄タクシーが新たなバス路線の運行を開始しました。

また、室積と牛島を結ぶ唯一の旅客船「うしま丸」が老朽化や環境負荷軽減に対応するため、20年ぶりに新しく建造され、11月に就航しました。

●こども家庭センターきゅっとを開設

母子保健と児童福祉の相談支援部門を一体化した、「こども家庭センターきゅっと」を4月に開設し、支援体制を強化しました。専門性を活かした一体的な組織として、すべての妊産婦、子育て家庭に寄り添い、切れ目のない支援を実施します。

●市の窓口でキャッシュレス決済を導入

5月から住民票や各種証明書などの交付手数料の支払いにキャッシュレス決済（コード、クレジットカード、電子マネー）を導入し、会計が便利で簡単になりました。

●虹ヶ浜菊を光市指定文化財に決定

主に浅江地区で自生、生育されている虹ヶ浜菊を光市指定文化財として5月に決定しました。植物学者の牧野富太郎博士が命名した、本市の地名がついた唯一の貴重な植物であり、浅江地区のコミュニティや児童などにより、地域の宝として受け継がれています。

●光市PR大使に「ぺこぱ」が就任

光市出身やゆかりのある著名人に、市の魅力や情報を発信してもらう「光市PR大使」を創設し、第一号としてお笑いコンビ「ぺこぱ」の松陰寺太勇さんとシュウペイさんが6月に就任しました。お二人にはさまざまな場面で、光市の魅力を発信していただきます。

●クマの目撃が多発

山間部を中心に市内各所で、例年になく頻度でクマが目撃されました。これは、山中の食糧不足や里山の荒廃などで、人とクマとの生活圏が隣り合わせになりつつあること等が原因と考えられます。被害が出ないよう、今後も市公式LINEなどで目撃や対策等の情報を発信します。

●光市長、光市議会議員選挙

11月に光市長選挙と光市議会議員一般選挙の投開票が行われ、芳岡市長が初当選、また、光市議会議員は新人3名を含む18名が当選しました。